

競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ

（一財）福岡陸上競技協会

（1）参加学校（チーム）の顧問（監督）の皆様へのご協力をお願い。

新型コロナウイルス感染症が終息または、ワクチン等が開発されるまでは当分の間、以下の留意点の遵守にご協力をお願いします。

- ①参加選手の体調の把握をお願いします。少しでも体調の悪い選手は競技会への出場を辞退させる。体調管理チェック表（福岡陸協ホームページからダウンロード）の作成と確認。体調管理チェック表を受付時に主催者に提出する。（体調管理チェック表は感染者が発症した場合のみに使用しその他に使用することはありません）
- ②競技会へ出場する選手のみ参加とします。応援、付き添いのためだけの者は会場に来させないでください。練習会場なども同様とします。ただし、熱中症など防止対策として長距離種目については、指定地点（ゴール先シャッターを出て右側）に各校1名の付き添いをつけてください。競技会へ出場せず、補助員で参加する場合は例外とします。ご協力をお願いします。
- ③保護者、家族等の方の会場への来場はお控えいただくようご連絡ください。選手の送迎についてはこの限りではありません。
- ④選手控所については、主催者で間隔をあけるため禁止場所を設定しますので（禁止の表示）、それ以外の場所で設置をお願いします。
- ⑤選手控所で休憩する場合は、ソーシャルディスタンスを確保するよう指導をお願いします。また、大声で会話等することのないよう指導をお願いします。
- ⑥競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告し、保健所、医師会、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告すること。
 - ・居住地域の相談窓口や、帰国者・接触者相談センターに電話で相談する。福岡市新型コロナウイルス感染症相談ダイヤル（24時間受付）：092-711-4126
筑紫保健所福祉環境事務所：092-707-0524
福岡県夜間休日緊急連絡番号：092-471-0264

（2）参加者が競技を行う際の留意点

1) 基本的注意事項

参加学校（チーム）の顧問（監督）の皆様から競技会の参加者に対し、以下の留意点や遵守すべき内容を周知・徹底をご指導ください。

- ①招集所では他の選手とはソーシャルディスタンスを確保し招集を受けること。
- ②競技中に唾や痰を吐く行為は行わないこと。
- ③タオルの共用はしないこと。タオルは各自で持参する。
- ④控所では、周囲の人とソーシャルディスタンスを確保する。大声で会話をしない。
- ⑤試合中などに選手が倒れた場合は直接触れることをせず、医務室や大会本部へ連絡する。ただし、緊急を要する場合は、手袋、マスク等防護体制を整えた競技役員が対応し医務員に引き渡す。（補助員には対応させない）

2) トラック競技

- ①レース中のマスクを着ける必要はないが、招集中・移動中・待機中は着用する。マスク着用による熱中症にも注意をする。
- ②レース終了後、手洗い・洗顔を徹底すること。
- ③混成競技控室は原則設けないが、設ける場合は、競技者はマスクを着用し競技者同士のソーシャルディスタンスを確保の上、換気を十分に行う。

3) フィールド競技

- ①待機場所における選手同士のソーシャルディスタンスを確保する。
- ②投てき器具については共用となるので、終了後の手洗い・洗顔を行う。また、競技中に不用意に手で顔を触らないよう注意する。
- ③助走練習、投てき練習時に並ぶときは、ソーシャルディスタンスを確保する。
- ④選手同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用すること。

4) ウォーミングアップ会場の配慮事項

- ①ソーシャルディスタンス確保の工夫。
- ②競技者自身のみでウォーミングアップを行う。(付き添いは付けない)
- ③ウォーミングアップ会場での観戦を禁止する。
- ④雨天練習場の使用は禁止する。(密集・密接を避けるため)

(3) その他留意事項

1) 体調の確認

学校(チーム)で参加する場合は、選手の体調管理のため、顧問(監督)の方が以下の書面を作成し持参すること。(別紙、**体調管理チェック表**)

- ①氏名、年齢、住所、連絡先
- ②イベント前日、当日の体温
- ③競技会前2週間における以下の事項の有無
 - ア のどの痛みがある
 - イ 咳(せき)が出る
 - ウ 痰(たん)がでたり、からんだりする
 - エ 鼻水(はなみず)、鼻づまりがある ※アレルギーを除く
 - オ 頭が痛い
 - カ 体のだるさなどがある
 - キ 発熱の症状がある
 - ク 息苦しさがあ
 - ケ 味覚異常(味がしない)
 - コ 嗅覚異常(匂いがしない)
 - サ 体温 平熱()
 - シ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触(※別紙チェック表に記載なし)
 - ス 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる(※別紙チェック表に記載なし)
 - セ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある(※別紙チェック表に記載なし)

2) マスク等の準備

学校（チーム）の競技会参加者がマスクを準備しているか確認すること。参加者の受付、着替え、など運動・スポーツを行っていない間、特に会話するときには、マスクの着用を指示する。

3) 競技会の参加前後の留意点

競技会に参加する学校（チーム）は、競技会前後のミーティングなどで三つの密を避けること。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮すること。

4) 手洗いの実施

競技会開催・実施の間に手洗いをこまめに行うよう指導ください。

①手洗いは、30秒以上行うこと。

②手洗い後、手をふくために個人でタオルを準備すること。

タオル等を共用しない。（各自で準備する）

③手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。

④フィールド競技に出場する競技者は、競技終了後手洗い、洗顔を実施する。

5) 更衣室、休憩、待機スペースでの行動について

更衣室、休憩、待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に配慮して使用するよう指導ください。

①広さにゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。

②ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室することがないよう指示。

③室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）を使用した場合は、こまめに手洗いをする。

④更衣室等では換気扇を常に回す。換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。更衣が終了したら速やかに退出すること。

⑤シャワールームの使用を禁止する。

6) 洗面所

洗面所（トイレ）も感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に配慮して使用するよう指導ください。

①トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー）を使用した場合は、こまめに手洗いをする。

②トイレを使用した場合は、便器の蓋を閉めて汚物を流すよう指示すること。

③手洗いは、30秒以上行うよう指示をする。

④手洗い後、手をふくために個人でタオルを準備するよう指示をする。

7) 観客の管理

①各学校（チーム）の顧問（監督）の方から、保護者、家族、選手以外の友人などの応援者は当分の間、会場（競技場スタンド・選手控所）への入場を自粛してもらうよう伝達していただく。**7月中の競技会については、無観衆で実施する。**

②集団での応援は禁止、また応援者同士の距離を2mほど開ける。大声をだして応援しない。また、タイム読みも禁止する。手拍子での応援は可。

8) ごみの廃棄

各チームが出したごみは持ち帰る。また、以下に配慮して回収を行うこと。

①鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れ密閉すること。

②ごみを回収する人は、手袋とマスクを着用すること。回収が終わったら必ず石鹸と流水で手を洗うこと。

[施設における配慮事項]

(1) 施設入場時の配慮事項

- ①手指消毒剤の準備。(競技場管理者及び競技会主催者)
- ②ソーシャルディスタンス確保の呼びかけ。

(2) 施設利用上の配慮事項

- ①常時換気の実施(窓開け・戸開けの実施)
- ②諸室・招集所などの座席配置の工夫。(ソーシャルディスタンスを確保)
- ③直接の接触回避の工夫。
- ④多くの者が接触する可能性がある個所の清掃・消毒を通常よりも多く行う。
(施設管理者の方への協力依頼)
- ⑤トイレの清潔化の徹底。(便座の蓋をしてから流す)
- ⑥ゴミ箱を撤去し、ゴミは各自持ち帰るように事前に周知する。また、アナウンスも行う。
- ⑦発熱者が出た場合の隔離用の部屋を確保する。適切な部屋が確保できない場合は、飛沫感染防止の対策をとる。

[報道取材者への対応事項]

取材の申請をし、許可された取材者は以下の点を遵守してください。

- ①大会本部に取材の申請を必ず行う。その際、体調管理表(主催者準備)を提出すること。
福岡陸協ホームページより、体調管理チェック表(大会前、大会後)をダウンロードする。
- ②取材人数は、1社1名を基本とするが、テレビ等の場合は取材1名、撮影1名とする。
- ③取材エリアについては、競技・審判に支障がなく安全なエリアで行う。審判の指示に必ず従うこと。
- ④会場内では、ソーシャルディスタンスを確保し、3密を防ぐこと。
- ⑤取材中は、必ずマスクを着用すること。また、ビブスを必ず着用すること。
- ⑥選手・監督への取材は原則行わないこと。取材の必要がある場合は、ソーシャルディスタンスを確保し取材を行う。
- ⑦会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心がける。